

# COOP-JOSO News Letter

【ものづくり 人づくり 地域づくり】 秋の生協組合員懇談会、東電・国の告訴呼びかけ

## 秋のせいきょう強化月間

# 地区別組合員懇談会 がスタート！

恒例の懇談会。地区の色どりが見えてきます。放射能騒動のうちに、組合員さんの食利用が低迷。食べなくちゃ健康は維持できない。放射能に負けるな！

味覚の秋を迎え、「おいしい」の交流が名案を生み出してくそうと期待しています。どうぞ話しをこねたり、煎ったりで、ぜひみなさん参加してみてください。

(理事長村井)

我が家はね！の食だより  
味わう話で お腹が鳴る鳴る



9/12、牛久地区懇談会〇

秋の牛久はスケジュールもりだくさんです！

■ 10/27 (土) 山崎久隆さん (たんぼぼ舎)  
講演会「わが子を守る食べ物と暮らし」  
(牛久市運動公園アリーナ)

■ 11/9 (金) 「秋の試食説明キャラバン・In牛久」  
(牛久中央生涯学習センター)

ぜひみなさん、お友だちさそって牛久にお越しください。お待ちしております！



〇9/12、守谷地区・つくばみらい地区懇談会

「甘酒は手作りしちゃうの！簡単よ」「相馬の復興商品”ねぼうま”食べた？めっちゃご飯がすすむのよ」「お父さんがネパールのお料理教えるわよ」

次から次へ話題沸騰！



### 「秋の組合員懇談会」日程一覧・・・ぜひお集まり下さい！

地区	日程(曜)	時間	会場
牛久地区	9月12日	(済)	牛久市生涯学習センター
守谷・つくばみらい地区	9月12日	(済)	常総生協本部
つくば地区	9月24日(月)	10:00～12:00	春日交流センター
我孫子地区	9月26日(水)	10:00～12:00	我孫子アピスタ
利根地区	9月27日(木)	9:30～12:30	利根町コミュニティーセンター
取手地区	10月3日(水)	10:00～12:00	取手中央労金会議室
土浦・阿見地区	10月4日(木)	10:00～12:00	土浦四中地区公民館
流山地区	10月5日(金)	9:45～11:45	流山生涯学習センター和室
柏地区	10月9日(火)	10:00～12:00	柏市勤労会館和室
松戸地区	10月11日(木)	10:00～12:00	松戸市常盤平市民センター

各地区の理事・総代さんが地区別のチラシを作ってお案内しています。

地区ごとに楽しい試食や懇談を計画していますので、ぜひご参加下さい。

## 9/5 福島からの呼びかけ

子どもたち、若い人々への責任を果たすために  
とても勇気のいることでした。私たち自身の生き方を問うことでもありました。



普段は何百人、何千人の前でお話する機会が多い武藤さんが、「茨城・千葉のみなさんとは同じ被害者としてゆっくり話したい」と、9/5つくば市の公民館の和室に来てくださり、福島原発事故の責任を問う告訴のお話とあわせて、武藤さんの住む森での電気にたよらないこれまでの暮らしの様子をうかがいました。共に責任を問うこととしてゆきましよう、と呼びかけがありました



### 武藤類子さん、「福島からの呼びかけ」



私たち 1324 人の福島県民は、福島地方検察庁に「福島原発事故の責任を問う」告訴を行いました。

事故により、日常を奪われ、人権を踏みにじられた者たちが力をひとつに合わせ、怒りの声を上げました。

告訴へと一歩踏み出すことはとても勇気のいることでした。

人を罪に問うことは、私たち自身の生き方を問うことでもありました。

しかし、この意味は深いと思うのです。

- ・この国に生きるひとりひとりが大切にされず、だれかの犠牲を強いる社会を問うこと。
- ・事故により分断され、引き裂かれた私たちが再びつながり、そして輪をひろげること
- ・傷つき、絶望の中にある被害者が力と尊厳を取り戻すこと

それが、子どもたち、若い人々への責任を果たすことだと思うのです。

声を出せない人々や生き物たちと共に在りながら、世界を変えるのは私たちひとりひとり。

決してバラバラにされず、つながりあうことを力とし、怯むことなくこの事故の責任を問い続けていきます。

同じ被害者である茨城、千葉のみなさん、共に手をとりつながりながら、この事故の責任を問うてゆきましよう。告訴団にぜひごいっしょしてください。



犯罪の被害者が、犯人の刑事処罰を求める訴えです。わたしたちとごいっしょ頂ける方は、この書類への記入と、被害陳述書と、10千円の振込をお願いします。

告訴団参加申込は  
ニュース裏面申込書にて

# 福島から来て下さった武藤類子さんを囲んで（9/5 つくば市小野川公民館にて） どんぐりの森から

チェルノブイリ事故のあと、どうやって原発とめられるのか？考えて考えて、行き着いたのは自分のくらしを見直そうと。たくさんのエネルギーにたよらないくらしを試してみようと山の開墾をはじめました。どんぐりの森を拓いて家をつくりました。工夫して電気を使うことを減らし、どんぐりを頂き、鳥や小動物といっしょに暮らしていました。わずかな電気も1/3は自家発電で。そこに福島原発事故。森も薪木も鳥も虫たちも放射能で汚染されてしまいました。でも、子どもたちへの最後の責任を果たそうと思います。



私たちは本当はいろんなことを工夫したり、考えたりする力があるのに、便利さはそういうものを奪ってしまう・・・。

家のテラスには中古のソーラーパネルが並びます。家の照明全部と、井戸水ポンプ、パソコン、ミル、洗濯機の電気をまかさないです。冷蔵庫はありません。



中古ソーラーパネル第1号。

炭でごはんを炊く簡易かまど。パンもピザもOK。

ソーラークッカーです。

お風呂は中古の太陽光温水器で。



小さな虫たちや、鳥たちと暮らしていました。ドアに花の絵を描いたら、ちょうちょうが蜜を吸いに来ました。



日本みつばちもいっしょでした

## 【食欲の秋、生協利用促進キャラバン（予告）】

# 「秋の試食説明キャラバン」10月スタート！

どの会場でも参加自由です。ぜひお友達もさそって来てください！

「常総生協のあの商品、とっても気になる！でもなかなか手が出ないの」、「放射能に打ち勝つ食っていうけれど、具体的には何を食えばいいのかしら？」「スーパーに比べて高い！何がちがうの？」。常総生協に入って間もない方も、しばらく経った方も、ぜひ各地で開催される試食会にお出かけください。

商品部職員と地域の理事が日頃の疑問にお答えします。この秋、常総生協の「生きた食べ物」で、元気にすごして頂きたいと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

第1回	10/10（水）AM	我孫子アビスタ調理室
第2回	10/16（火）AM	つくば市小野川交流センター調理室
第3回	10/25（木）AM	流山生涯学習センター調理室
第4回	10/30（火）AM	常総生協 本部
第5回	11/9（金）AM	牛久市生涯学習センター調理室

## 福島・茨城・千葉＝同じ被害者として共にある

# 『福島原発告訴団・関東』参加の呼びかけ



私たちホットスポットエリアでも、どれほど子どもたちを心配したことでしょう。かけがえのない田畑と海そして森を放射能で汚染された生産者もどれほど心痛めたことでしょう。放射能は生産者と消費者を分断し共に苦渋の選択を迫られました。

組合員と生産者が自らの資金を使って食品の放射能検査をせざるを得なくなったにもかかわらず、東京電力は「流通業者は産地を変えて仕入れればいいでしょう。企業努力が足りないのでは」と損害賠償も全面拒否。文科省は「ホットスポットなどという地域定義などない。あなた達のところは調査区域でしかない」と主張しています。

8月理事会で、東京電力や国の責任を生協としても問うことを確認しました。福島の人々が勇気をもって踏み切った刑事告訴・告発に参加を呼びかけます。

「茨城・千葉のみなさんとは同じ被害者としてゆっくり話したい」と、9/5 告訴団代表の武藤類子さんが来てくれました。告訴を決意するお話しもお聞きしました。すでに検察に受理され捜査がはじまりました。

原発事故の責任、被ばくの責任をあいまいにすることは、子どもたち、若い母親たちに申し訳がたちません。せめて責任を明確にして次の世代に引き継ぎたいと思います。

検察に刑事告訴する対象は、東京電力の役員と、国の原子力安全委員、原子力安全保安院、文科省の責任者らです。費用は会費1口千円です。参加頂ける方は、下記の申込用紙を生協まで。折り返し書類、振込用紙をお届けします。

## “福島原発事故の責任を問う” 告訴団への参加資料申込

コース名

班名

組合員No.

お名前